

# うじいえ 自然に親しむ会だより

## 平成28年度を振り返って

会長 加藤 啓三

昨年度に続き平成28年度も沢山のことがありました。

本会を作るきっかけをいただいた中村和夫先生（現在本会顧問）が、昨年アメリカ・ニューヨークへ出掛けられた際、シルビアシジミの名前のいわれとなった中原和郎の娘シルビアの墓碑を確認されました。このことについて、5月7日の記念講演会でお話いただけたと思います。

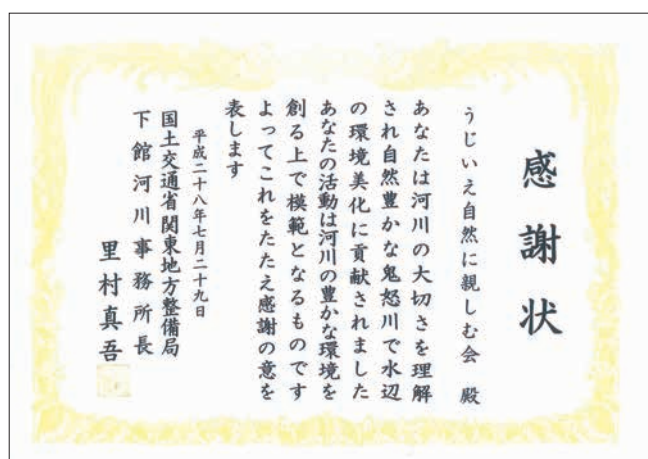
事業としては、「ミヤコグサ1株株主運動」（ミヤコグサ管理地除草集中キャンペーン）の展開です。5月から9月までの延べ10日間に100人以上の参加者がありました。参加者の皆さんありがとうございました。宇都宮市の会員でお孫さん3人を連れての参加や、会員でない一般市民の参加、中学生（10人）・高校生（10人）のボランティア等に協力していただきました。なお、ボランティアの中学生と高校生は、小学生の時に鬼怒川河川敷でシナダレスズメガヤの抜き取り作業を体験した生徒たちでした。私たちの出前授業（さくら市内の小学校を対象とした自然環境の学習）の成果の一つとうれしく思いました。

なお、本会の行事（シナダレスズメガヤやオオキンケイギクの抜き取り作業）に参加してくれた栃木県立宇都宮白楊高等学校生物工学科の3年生は、『ミヤコグサの試験管栽培』に取り組み、150株のミヤコグサを育てました。このミヤコグサは後日ゆうゆうパーク内の第2管理地に隣接して、新しく造成された区画に移植しました。散策路沿いにあります

ので、ぜひご覧下さい。この研究が「日本学生科学賞栃木県展覧会」で優秀賞に輝きました。おめでとうございます。

また、同校大学への進学では、宇都宮大学、秋田県立秋田大学など、全員が希望の進路に決まったと聞いています。

なお、本会は国土交通省下館河川事務所から、2回目となる「感謝状」をいただきました。これは、鬼怒川河川敷での保全活動が河川愛護活動として高く評価されたものです。



## ミヤコグサ「一株株主運動」に参加して

宇都宮市 齊藤治子

「ばあば、僕もミヤコグサの一株株主オーナーになってみたいなあ・・・」と六年生になった孫が、私が読んでいた会報誌をのぞき見しながらつぶやきました。

「うじいえ自然に親しむ会」の諸活動には加藤会長さんとのご縁で四、五年前から年に数回、二人の孫とともに参加させていただいておりました。

絶滅危惧種であるシルビアシジミの存在も、孫たちは私以上に図鑑やインターネットで調べて知っておりました。

そして五月の「シルビアシジミ観察会」では二匹のシルビアシジミを見つけました。目が釘付けとなったことはいうまでもありません。また、指導の先生からミヤコグサの葉についていた0.5ミリほどの卵を見せていただき、これまた感激いたしました。

その後「ミヤコグサ管理地」除草集中キャンペーンに二人の孫をつれて参加いたしました。

ちいさな株をいためないように河原専用のピッケル風の道具をつかつての雑草除去は大変でしたが、管理地が増える喜びでいっぱいでした。

一株が二株に、二株が三株に・・・と小石で囲みながら、みるみるうちに管理地は広くなり、汗だくで作業する孫たちの背中が誇らしく見えました。そこには真っ青な空とさわやかな風に吹かれた黄色いミヤコグサがほお笑んでいるよういようでした。一坪ほどのミヤコグサ群落が出来上がりました。

地元に住んでいないので、こまめに管理地に出向くことはできませんが、月に一度足を運び昔のようなミヤコグサの群落が復元できることを心より願っています。

また孫たちには、これからも自然や生き物にどんどん触れて優しい心を育んでほしいと願っています。



祖母と孫3人で参加した「1株運動」

# ミヤコグサの苗作りを通して ～白楊高校の地域活動への参加～

栃木県立宇都宮白楊高等学校 生物工学科 教諭 高橋由起

## 1. 活動の概要

宇都宮白楊高校生物工学科では、環境学習の一環として平成21年頃からうじいえ自然に親しむ会の動植物保全活動にボランティアとして参加しています。特に、鬼怒川河川敷の絶滅危惧種の保全活動には興味関心を持つ生徒が例年おり、年に数回ではありますが、宇都宮から現地へ赴き、除草活動や観察会などを通して、河川敷の特殊な環境に生育する動植物の生態について学んでいます。

また、年に1回ではありますが、さくら市のゆうゆうパークにて特定外来種に指定されているオオキンケイギクの除草作業を行っております。このような活動を契機に、生徒たちは身近な環境問題について改めて考え、課題意識を高く持つようになってきました。



ゆうゆうパークでの活動の様子



除草したオオキンケイギク

## 2. 宇都宮白楊高校生物工学科について

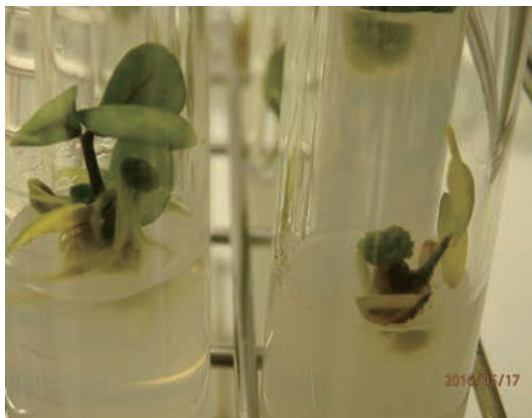
本校生物工学科では、植物分野・動物分野・微生物分野に関わるバイオテクノロジーの学習を主軸とした専門的なカリキュラムを実施しています。植物分野では組織培養による苗の大量増殖、動物分野ではマウスなどの実験動物の飼育管理およびその利用、微生物分野では発酵技術や環境浄化能力などについて学んでいます。



### 3. ミヤコグサの苗作り

うじいえ自然に親しむ会の様々な活動に参加する中で、生物工学科で日頃学習している技術を環境保全活動に生かすことはできないかと考え、平成26年度から絶滅危惧種シルビアシジミの食草であるミヤコグサを組織培養の技術を使って大量増殖を試みることにになりました。積極的にボランティアに参加していた現在の3年生が中心となって、試験管の中で苗を育てることにしました。植物ホルモンの種類や添加量など試行錯誤し、苗を増殖させることができました。また、試験管の外に出し徐々に環境に慣らしていく順化という難しい管理も成功し、無事に苗として鉢上げすることができました。

また、これらの研究成果を第60回日本学生科学賞栃木県展覧会に出品し、優秀賞を受賞することができました。学校内の活動にとどまらず、このような展覧会に参加することで、貴重な鬼怒川河川敷の環境が急激に変化しつつある現状や、それに対する様々な取り組みについて、多くの人に知ってもらうことができたと感じています。



試験管の中で育つミヤコグサ



日本学生科学賞栃木県展覧会表彰式

### 4. おわりに

このような活動を通して、生徒自ら身近な環境問題に目を向け、課題意識を持ってそれを解決しようとする姿勢が身についてきているように思います。このような機会を設けていただいた、うじいえ自然に親しむ会会長の加藤啓三様をはじめ、会員の皆様に改めて御礼申し上げます。

## 今年も出前授業と校外学習をサポート さくら市立熟田小の児童からお礼のメッセージ

昨年5月、加藤会長と当会顧問の田代俊夫先生が講師となり熟田小学校4年生への鬼怒川の自然に関する出前授業を行いました。これをふまえて4年生の児童は後日、ゆうゆうパークを訪れ野外学習を体験しました。現地、鬼怒川の風景を目の前に、授業で教えてもらった植物や昆虫は児童たちにどのように見えたのでしょうか。いくつか紹介しましょう。

「シルビアシジミはイギリス人のフェントンさんが1877年に発見したことや、鬼怒川にシナダレスズメガヤがふえて、たいへんなことになっていることを教えてくださってとても勉強になりました。シナダレスズメガヤのぬきとり作業に行ったときはとても楽しかったです。もうすこしするとシルビアシジミやミヤマシジミ、ツマグロキチョウなどがきたり、秋になるとカワラノギクなどがさいたりすることもわかりました。」（女子）

「シナダレスズメガヤはどこから来たのか、どんな植物なのか、どんな悪影響があるのかを知ることができました。これからもシナダレスズメガヤのくじょをがんばってください。」（男子）

「僕は植物の名前をたくさん知ることができました。ミヤコグサはマメ科の植物だとはじめて知りました。草取りはつかれたけれどたのしかったです。またゆうゆうパークに行ったらみんなで草取りをしたところを見に行きたいです。」（男子）

「きれいだなと思っていたオオキンケイギクも特定外来生物ということがわかり、とてもおどろきました。シルビアシジミは絶滅危惧種Ⅱ類ということも、はじめて知りました。ミヤコグサを食べていることもわかりました。シナダレスズメガヤの抜き取り作業をじっししていることも知りました。参加してみたいなと思いました。ヤマトシジミはカタバミを食べることを知ったときは小さな草を食べるんだなと思いました。」（男子）

「シルビアシジミやシナダレスズメガヤのことをもっと知りたくなりました。ほかにもウスバカミキリ、カワラゴミムシ、ミヤマシジミ、ツマグロキチョウなどいっぱい昆虫や植物がいてびっくりしました。シルビアシジミは家のまわりにいるヤマトシジミによくにいるということがわかりました。」（女子）

熟田小学校 玉村好明 校長からのコメント

自然保護という活動の前で一人ひとりの力はちいさなものかもしれませんが、みんなで協力しあうことにより大きくなり、大切なものを守ることにつながるのではないのでしょうか。シルビアシジミ、名前もすてきですが、貴会の活動は子どもたちに豊かな心を育む素晴らしいチャンスを提供してくれています。

# うじいえ自然に親しむ会

平成 29 年 5 月 7 日(日)

## シルビアシジミ観察会

時 間:10:00~11:30

集合場所:ミヤコグサ第一管理地

講 師:中村和夫先生・松田 喬先生  
(うじいえ自然に親しむ会)



シルビアシジミ

## うじいえ自然に親しむ会総会

時 間:13:00~13:45

場 所:ミュージアム講座室

## 講演会「シルビアシジミ物語(パート2)」

—その後のシルビアシジミ関係と  
最新のシルビアちゃん墓碑探しまで—

時 間:14:00~15:30

場 所:ミュージアム講座室

講 師:中村 和夫先生  
(うじいえ自然に親しむ会)



中村 和夫先生



シルビアちゃん墓石



## うじいえ自然に親しむ会事務局

(さくら市ミュージアム内) 栃木県さくら市氏家 1297

TEL 028-682-7123 FAX 028-682-7854

どなたでも無料でご参加いただけます。